

富山県立乳児院通信

↓ ないないばあ

— 令和4年 夏号 —

● 発行元 ●

日本赤十字社富山県支部受託
+ 富山県立乳児院
富山市牛島本町2丁目1番38号
電話 076-432-8137
FAX 076-432-8238



乳児院のテラスで水遊びをしました！
顔に水がかかっても気にせず、
夢中で遊んでいました♪

<富山県立乳児院ってどんなところ？>

いろいろな事情により、家庭で育てることができない乳幼児（0～3歳まで）を保護者にかわって24時間養育する施設です。（児童福祉法37条に規定された児童福祉施設です。）



ご寄付、ご寄贈 ありがとうございます。

	お名前		
<4月>	渡辺 富美子さん(富山県)	野坂 俊彦さん(富山県)	三井 彩佳さん(富山県)
	芹田 一信さん(富山県)	宮田 和美さん(富山県)	細田 絵理さん(富山県)
	沢里 由佳さん(富山県)	ヨシモトさん(埼玉県)	酒入 槇美、野々夏さん(東京都)
	井関 翔太朗さん(富山県)	四日 啓子さん(富山県)	山崎 明世さん(富山県)
	池田 真希さん(埼玉県)	杉澤 功二さん(富山県)	島崎 理恵さん(富山県)
	株式会社インテック(富山県) 明治安田生命保険相互会社富山支社(富山県)		
<5月>	竹下 絵里奈さん(富山県)	吉原 倫子さん(富山県)	池田 真希さん(埼玉県)
	ひよひよ日和様(富山県)	佐々木 英理さん(秋田県)	
<6月>	石原 加奈子さん(富山県)	杉澤 紗矢香さん(富山県)	

※同意していただいた方のお名前のみ記載しています

富山県立乳児院の理念・基本方針

●理念

児童福祉法及び児童憲章に基づき、安全で安心できる良質な生活の場を提供します。

●基本方針

1. 入所児童を中心に安全で安心できる生活の場を提供します。
2. 個人情報大切に保管、管理します。
3. 児童相談所や、地域と連携して入所児童や、ご家庭を支援します。
4. 職員や実習生に対する教育を充実し、次代を担う養育者を育成します。
5. 災害時(地震・火事・水害)の救護に関して訓練致します。
6. 常に赤十字病院と連携し、病気等に対して迅速に対応します。
7. 入所児童の健全な発育を促進し、保健衛生に心がけます。

病児保育室 おひさま

0歳～未就学児のお子さんで、病気や病気回復期にあるため集団保育や家庭での保育ができない時に、一時的にお預かりする保育室です。

利用時間 月曜日～金曜日 7:30～18:00

(ただし、祝日、5/1、12/29～1/3は除く)



利用料 1回2000円(昼食・おやつ代含む)

とやまっ子育て応援券の利用できます。
富山市ひとり親家庭病児保育利用料助成制度の利用も可能です。

コロナ禍になかなか再開の目途がつかず、長期に渡る休止によって大変ご迷惑をお掛けしております。
病児保育室おひさまの保育士一同、皆さまのお力になれる日が1日も早く訪れることを切に願っております。

お問合せ (080) 8697-2773(直通) 電話受付時間 7:30～17:00



管理栄養士より

もぐもぐだより



今回のわくわくランチはサンドイッチです。
色々な種類のサンドイッチを目の前に、好きな具材の物をパクッと頬張って食べていました。

デザートも旬を先取りし、種無しブドウを食べました。
ブドウを初めて食べる子もいましたが、甘くておいしいとわかると全部食べてから、まだ欲しがる子もいました。

次回も季節感を取り入れた子どもたちの喜ぶメニューを考えたいです☺



これからの行事予定

9月

運動会



10月

秋の遠足

ハロウィン



富山県里親支援機関事務局

里親講演会のお知らせ

里親講演会に関心をお持ちの方は、富山県里親支援機関事務局までご連絡ください。

(076)
432・8137



日時 10月16日(日)
午後1時30分
(開場1時)
場所 富山県民共生センター
サンフォルテ
参加費 無料
定員 150名(先着順)

『真に』こどもに
やさしい国を目指して

講師
塩崎恭久 (元厚生労働大臣)





えんそく



5月13日(金)は、当院の春のメインイベント、遠足の日でした。

参加するのは1歳半~もうすぐ2歳の子どもたち3名です。コンビニエンスストアでのお買い物を体験した後、美術館の屋上広場で遊ぶ予定を立て、下見もして、私たち養育者も楽しみにしていました。ところが当日の朝は泣き出しそうな空…。そこで残念ですが、お買い物の後は院内で遠足ごっこをして過ごすことになりました。

しかし、初めてのお買い物はそれだけでも子どもたちにとっては大冒険。「いらっしゃいませー」と元気な店員さんの声に迎えられてお店の中へ。所狭しと並んだたくさんのお菓子やジュースに、子どもたちの目は釘付けです。いっぱい目移りしながら養育者と一緒に選んだおやつをカゴに入れ、レジに並び、一人ずつ、お金を払います。自分だけのおやつを大事にリュックに入れ、「ありがとうございましたー」の声に見送られてお店を後に。子どもたちを笑顔で見守り、やさしく対応して下さった店員さんのおかげで、ワクワクドキドキな楽しい体験ができました。

院へ戻り、買ってきたおやつを堪能し、いつもと違う遊びや紙芝居を楽しんだ後は、いよいよ本日一番のお楽しみ、ランチタイムです。二色のおにぎり、キャラクターをかたどったハンバーグにグラタン、星をかたどったフルーツと、栄養士の子どもたちへの思いが詰まったカラフルでかわいいお弁当に、ふたを開けた子どもたちの表情がパッと輝きます。満面の笑みで口いっぱいに頬張る1歳半のS君を見守る栄養士の目には光るものが…。食べ終わっておなかも心も大満足の子どもたちはお昼寝へ。きっとお買い物やお弁当の夢を見ていたことでしょう。

急遽、計画変更とはなりましたが、たくさんのやさしさや愛を感じることができた、すてきな遠足となりました。



7月7日(木)に七夕まつりを行いました。練習の時はノリノリで「たなばた」の歌を歌って踊っていた子どもたちですが、本番は緊張したのか踊ってくれたのは1人でした。

七夕の製作では個性豊かな顔の彦星と織姫が出来上がり、おやつのおアイスクリームは冷たさに震えながらも「おいし〜♡」と食べていました。七夕をイメージした「お星さまにタッチ」「天の川に星を浮かべよう」「星の型はめ」等、星をふんだんに使用した遊びを楽しんだ後は、見た目も可愛い「スペシャル七夕ランチ」の登場です♪星形をモチーフにしたサンドイッチやデザートに子どもたちの顔はニコニコ◎おかわりをする子もいて、美味しそうに食べていました。たくさん遊んでたくさん食べて満足した表情でお昼寝に入った子どもたち・・・
寝顔を見て「どうかその笑顔にたくさんの幸せが訪れますように」と願った養育者でした・・・☆